

令和5年度第16回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和5年12月18日（火）13：15～13：38
- 2 場 所 教育委員会会議室 ハーバーセンター4階
- 3 出席者 長田教育長
正司委員 今井委員 山下委員 本田委員（WEB） 吉井委員
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 0名（一般0名・報道0名／報道0社）
- 6 会議内容

（長田教育長）

それでは、ただいまから教育委員会会議を始めます。本日は、本田委員がリモートでの参加です。本田委員、よろしくお祈いします。

（本田委員）

よろしくお祈いします。

（長田教育長）

それでは、本日は議案1件、協議事項5件、報告事項が1件です。まず初めに、非公開事項についてお諮りをいたします。このうち教第33号議案、協議事項26につきましては、教育委員会会議規則第10条第1項第2号の規定により、職員の人事に関する事。協議事項23、協議事項47、報告事項1につきましては、同項第6号の規定により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものにそれぞれ該当すると思われますので、非公開としてはどうかと思ひますが、いかがでしょうか。

（賛同）

（長田教育長）

それでは、以上申し上げました議案、協議事項、報告事項につきましては、非公開といたします。

協議事項21 学習用パソコンの活用状況について

（長田教育長）

まず、協議事項21から参ります。協議事項21は、学習用パソコンの活用状況についてで

す。

それでは、説明をお願いします。

(藤井教科指導課長)

学習用パソコンの活用状況についてですけれども、7月に全国学力・学習状況調査で活用率が低いという状況の後、改善策に取り組んでおりまして、11月の教育委員会会議においても、途中の状況は御報告させていただいたところでございます。このたび、その後の取組について、御報告させていただきます。

資料1 ページです。学習用パソコン活用に関する調査の実施というところで、活用状況を小学校5年生、6年生、中学校1年生から3年生の児童生徒を対象に、改めてアンケートを行いました。結果ですけれども、表にございますとおり、左に7月の調査の結果の状況、12月は小学校が75.8%、中学校が63.4%となりました。参考に全国の学力・学習状況調査の平均ということで、こちらの対象は、6年生と中3になりますので、少し異なる部分はありますけれども、それと比較したところ、全国より少し上にはなっているという状況でございます。

課題についてですけれども、まだ活用状況が改善途上にあたり、なかなか改善が見られない学校に個別に支援していく必要があると考えてございます。

(2) 活用促進調査にありますとおり、学校長を対象に、どんな工夫をしたのかというところを調査していきまして、③に調査結果がございます。活用促進に向けて、教員相互で授業参観をし合ったり、管理職が授業参観をして、こういった活用をすべきではないかというアドバイスしたりということも多くが取り組んでいるところです。ほかに活用が進んだ学校の特徴的な取り組みというところで、一気に伸びているところと、なかなか伸びてないところありますので、そことの差として、2つ書いていますような、色々な機会をつくって、研修を積極的に実施しているところは、やはり伸びているとかですね。あるいは、校内で、こういった場面では必ず使いましょうということで、取り組んだところは伸びているというような結果が出ております。

(1) でも申し上げましたような改善が見られない学校には、しっかり事務局から指導をしていって、さらに伸ばしていきたいと考えてございます。

2. にあります授業パッケージの提示ということですが、学習のまとまりごとに毎時間の学習の展開案、その中で学習用パソコンをどういった場面で使ったらいいのかという内容、一体的に授業をこんな形でやったらいいんじゃないでしょうかというような提案を、我々で提示しておりますので、具体的に、お手元にも資料をお配りしているんですけれども、御紹介させていただきます。

(藤本指導主事)

では、小学校算数科の授業パッケージについて、御説明させていただきます。小学校算

数科では、3年生の三角形を調べようという図形領域の単元で授業パッケージを作成いたしました。学習用パソコンの活用場面としては、学習支援ツールの発表ノートという機能上で、児童が自分の考えを表現することができるようにしています。指導者は画面上のこちらのマークをクリックすると、発表ノートをダウンロードすることができ、そのまま授業で活用できます。この発表ノートの場合は、円周上の点、もしくは、円の中心から3つの点を子供が選びまして、このように作図をした上で提出をするという学習になります。また、児童同士で発表ノートを共有、閲覧することもできます。このような形になります。また、授業内で、児童が活用できる動画も用意しております。こちらの下のこのマークが動画の印になります。さらに児童が自分の学習用パソコンのカメラ機能で写真を撮影して、それを提出したり、もしくは、学習の振り返りを発表ノートやフォームズを用いて提出したりすることも設定をさせていただいております。

算数科は以上になります。

(藤井教科指導課長)

こういった授業パッケージを、次の2ページにお示ししていますほかの教科の単元の中で、こういったものをつくりまして、学習用PCの有効な活用場を提示してございます。教員が、こういったものを通じて、ほかの教科、単元においても、学習用PCを効果的に活用できるようにしていきたいと考えてございます。

あとは、11月にもお示しました。その他、色々な研修会であったりとか、個別訪問であったりとか、そういったものを合わせて実施しておりますので、参考に記載してございます。

以上でございます。

(長田教育長)

それでは、何か御意見、御質問ございませんでしょうか。

なお、今後の方針に関する事柄につきましては、教育委員会会議規則第10条第1項第6号の規定に該当すると思われまますので、後ほど非公開の場で協議をさせていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(賛同)

(長田教育長)

それでは、今後の方針以外の部分について、御意見等があれば、お願いをしたいと思います。

どうぞ、今井委員。

(今井委員)

12月調査で、すごく数字上がったっていうことで、ありがたいことだと思うのですが、児童生徒さんたちに、こういうふうに増えたことで、学びがより深まったとか、より興味を持てるようになったとか、そういうあたりの質問ってというのは、今回は入ってないのでしょうかというのが1点と、もう一点、今回、こういう単元で授業パッケージをつくってくださっているということで、それを実際に使用された先生たちの、やりやすかったとか、こういう点をもっとこうしたらいいんじゃないとか、何か寄せられてる声があったら、少し教えていただきたいのと、あと、今つくってる単元以外のところというのは、今後どうされるのか。もっと追加していくおつもりがあるかどうかとか、そのあたりの今後のお考えとかがあったら、教えていただきたいと思います。

以上です。

(藤井教科指導課長)

1つ目の12月の調査ですけれども、どういった場面で使っているかは聞いたりしているんですけども、これによって、どう進んだのかという形で、児童生徒には、まだ聞いておりません。今回は、まず、我々が全国に比べて低かったということもありますので、もちろん我々は有効な活用場面、活用方法というのをしっかりと提示はしているんですけども、一方で、やはり、まず児童生徒が授業の中で、しっかり使っていただくということを、第一に。併せて、趣旨というものをしっかり理解して、情報活用能力をしっかりと身につけるというのを言っていくという形になっていますので、これがしっかりと定着するように、我々も、趣旨をきっちり下ろしていかないといけないと思っていますし、今後、併せて聞いていかないといけないとは思っています。

あと、もう一つ、授業パッケージについては、まだこちら、今ちょうど学校に提示し始めたところですので、多分、好評だとは思いますが、これからしっかりそこも把握していきたいと思っています。

(辻本初等教育担当課長)

今、作成している授業パッケージについては、3学期教材となっていますので、これから先生たちが使っていきます。もちろん現場の声も聞きながら、デジタルで配信しているので、改善すべきところは改善して行って、ブラッシュアップしていきたいと考えています。

また、来年度につきまして、1学期、特に新しい先生もたくさん入ってこられるので、1学期教材で、ほかの学年、それから、他教科においても、今、作成中でございます。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

数値が悪化したということで、努力したところ、すぐに反応したので、逆に急に上がったから、びっくりしているところがあります。非常に気をつけられていることは、今の説明でも分かったんですけど、数字を上げることが本来の目的ではないので。やっぱりこれを使うことで、生徒さんが、より多様な深い学びができるとか、こういう端末を触ることに抵抗感がなくなるとか、加えて先生方の働き方改革が進むとか、そっちのほうが大切なので、その勘違いが現場で起きないように、その点だけは、事務局としても気をつけていただきたいなと思っていますので、よろしくお願いします。

(長田教育長)

その辺は、結構、事務局から各学校現場に説明する際には、十分配慮というか、趣旨、目的がきちんと伝わるように、これまでも徹底はしていただいていると思います。特に、活用が進んでいない学校に指導するときには、今の正司委員のおっしゃったことの趣旨を、きちんと。とにかく数字を上げろ、だけではなくて、何のためにという、まずは、やっぱり子供たちが情報を活用する力を身につけていかないと、将来困りますよというところがスタートだと思いますので、この辺、十分に気をつけて指導をしていただきたいと思います。

ほか、ございませんか。

どうぞ、山下委員。

(山下委員)

今のと関連してなんですけれども、多分これまでの議論の中でも出てきたかと思うのですが、例えば事務局から学校に何故数字が上がってないんですかということをお尋ねしていただいたときに、何故上がってないんだというプレッシャーとして受け止めてしまわれるということもあったと思いますので、あくまで支援するというようなことを強調していただけたら、さらにありがたいかなと思いました。

あと1点、非常に素朴な疑問ですが、例えばこちらの授業パッケージの中で、先生方がメモを授業パッケージ自体にしておきたいなと思ったときには、どんな形で記入ができるのかなとふと思ひまして。これ、PDFで配付されてるんですかね。PDFは書き込みができるということということですかね。

(辻本初等教育担当課長)

少し原始的にはなるんですけども、PDFで配信するので、印刷をして、手書きでメモという形にはなります。

(山下委員)

そのほうが、むしろ先生も、パソコンで頻繁に画面を切り替えずにやれるので、いいかもしれないですね。ありがとうございます。

(長田教育長)

どうぞ、吉井委員。

(吉井委員)

どちらとも少し関係するかもしれないのですが、気になりますのは、今回、随分努力して、皆さんが活用の方法なり、進んでパソコン活用についてのいろいろと啓蒙活動をしておられたと思うんです。残り、まだ25%から35%残っているんですね。で、後ほどの資料を拝見させていただくと、かなり限られた学校が、もう伸びてないといえますか、使用頻度が少ないということになってくると思います。ここら辺の皆さんが御訪問されて、お話を伺って、なぜ活用が進んでないのかということについて、何か御意見があったかどうか、そこら辺の話が聞けていれば、ぜひお聞かせいただければと思います。

(藤井教科指導課長)

活用が進んでないところ、逆に数字自体は上がっているところも、やっぱりまず着手してってところがあるかもしれませんので、なかなか今までやってきた授業で、しっかり成果が出ているものについて、なかなか変化しにくいような思いはあるかもしれませんので、そこについて、より一層深い学びをするために、こういったものがあるといいですよ。例えば、これだけ活用も進んできていますので、他校でも、こういった事例が出て、やはり情報活用能力ももちろんそうですし、学力の向上なんかにも、こういった使い方をすれば、すごく授業自体がやりやすいですよという、理解を得ていくような工夫が、粘り強く必要かなと思っています。

(吉井委員)

ということは、まだ十分に理解されていない学校園が幾つかあるというふうに理解しているのでしょうか。

(藤井教科指導課長)

理解していない学校園といえますか、やはり教員はたくさんいますので、まだ今までやってきた授業のやり方の方が、という部分はあるかもしれません。そういった部分も、今回、調査で数字が出てきていますので、個別にフォローする中で、そういったことについても、しっかりコミュニケーションしたいと思っています。

(吉井委員)

どうもありがとうございました。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

本田委員、何かございますか。よろしいですか。

(本田委員)

はい。大丈夫です。ありがとうございます。

(長田教育長)

ほか、よろしいでしょうか。では、また後ほど非公開の場で、今後の方針について、御意見をお伺いしたいと思います。

それでは、次に参ります。

協議事項39 第4期教育振興基本計画について

(長田教育長)

続いて、協議事項39です。第4期教育振興基本計画についてです。

(高野尾政策調整担当課長)

1 ページを御覧ください。次期神戸市教育振興基本計画の策定に当たりまして、有識者や保護者、地域住民の多様な意見を参考とするため、第2回の有識者会議を12月25日に開催いたします。

次に、2の児童生徒、保護者アンケートの集計結果です。11月の1か月間、アンケートを実施し、児童生徒約4万2,000名、保護者約2万6,000名の方から御回答をいただきました。

詳細について御説明しますので、2ページをお開きください。児童生徒、保護者とも確かな学力、体験学習、主体的な学びの割合が高い結果となりました。児童生徒全体と保護者を比べて、上位7項目にお互い入らない項目については、児童生徒が健やかな体、ICTの利活用、芸術教育の割合が高い一方、保護者の方は豊かな心、国際教育、先生の働き方改革の割合が高くなっております。なぜこの項目を選んだのか、または、学校や教育をよくするアイデアについては、全体の約40%の方から御意見をいただきました。

3ページ目以降は、詳細の内訳となっております。

1ページに戻っていただきまして、3の今後の予定につきましては、記載のとおりとな

ります。

私からの説明は以上です。

(長田教育長)

それでは、この件について、御意見等をお伺いしたいと思います。これにつきましても、先ほどと同様、今後の方針に関する事柄につきましては、後ほど非公開の場で御意見をいただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(賛同)

(長田教育長)

それでは、何かございませんか。

どうぞ。

(正司委員)

言わずもがなの確認になって恐縮なんですけど、今後の予定のところは教育委員会での議論というのは入っていないのですが、それぞれの対外的な事柄の間に挟まって議論して、そのベースでパブコメを出すということになるわけですか。

(高野尾政策調整担当課長)

そうです。はい。

(長田教育長)

逐一この間、何回かこの場で協議をしていただくと、そういうことですね。

(高野尾政策調整担当課長)

はい。

(長田教育長)

ほかにごございませんか。

(今井委員)

今回、本当にこれだけたくさんの児童生徒さんと保護者さんにアンケートの御回答をいただけて、回答の集計していただいて、すごくいろいろ伝わってくる場所があって、本当によかったなと思います。ありがとうございます。本当にこれだけ御回答いただいたこの内容を、しっかり計画に生かしていくことや、また、こういうアンケート結果や、それ

がしっかり計画に生かされていくこの過程も、しっかり学校現場であるとか、もちろん児童生徒、保護者さんにお伝えしていくことで、よりよいものになっていくと思いますので、引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

(高野尾政策調整担当課長)

はい。いただいた御意見等は、適切なタイミングでフィードバックをしっかりとさせていただいて、計画にも反映させていただきたいと思います。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

どうぞ、山下委員。

(山下委員)

また別の機会にも教えていただけたらと思うのですが、集計結果等を拝見すると、やっぱり保護者の方と児童生徒の方で上位項目とかが変わってきてたりして、少し面白いなど思ひまして、また、ぜひこの結果をどういうふうに解釈すればいいのかというようなことについても、働く現場の先生方初め、あるいは、事務局の指導主事の皆さん方にも、いろいろと教えていただけたらなというふうに思いました。

もう一つなんですけれども、回収率が非常に高いというか、小学生なんか大体もう半分以上は回答していただいているようなんですけど、これは実施に際して、何か工夫をしていただいたのかなと思ひまして。もしかしたら、以前に御報告いただいたのかしれませんけれども、もしよろしかったら、追加で教えていただけたらと思います。

(高野尾政策調整担当課長)

児童生徒は55%の回収率となっております。こちらのほう、GIGA端末に先生から児童生徒に配信をしていただいています。本当に学校の協力あってのことだと思います。

(山下委員)

ありがとうございます。我々のやるアンケート調査とも違う、格段に高い回収率だったので、大変働きかけしていただいたんだなと思います。感謝申し上げたいと思います。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

特にないようでしたら、また、後ほど今後の方針につきましては、御意見をお伺いしたいと思います。

そのほか、ほかの事柄でも結構ですが、この会議で議論したいこと、あるいは、御意見

等々、何かございませんか。

また、お気づきの点がありましたら、後日でも結構ですので、事務局まで御連絡をいただければと思います。

それでは、本日の公開案件は、これで終了といたします。

閉会 13時38分